

第 4 回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）
大臣級会合開催結果について

平成 15 年 12 月 12 日
内閣府
原子力担当

1．主催：原子力委員会

2．日時：平成 15 年 12 月 3 日（水） 9:40～17:10

3．場所：万国津梁館（沖縄県名護市）

4．参加国：オーストラリア、中国、インドネシア、韓国、マレーシア、
フィリピン、タイ、ベトナム、日本

5．議事概要

（1）開会セッション

茂木科学技術政策担当大臣より開会挨拶、牧野沖縄県副知事より歓迎挨拶があった。

（2）円卓討議

以下 2 つのテーマについて、意見交換を行った。

（テーマ 1）「放射線・放射性物質利用の社会・経済的効果の増大」

フィリピンのアラバストロ長官が議長を、マレーシアのロウ大臣がリードオフを行った。主な議論をまとめると以下の通り。

- ・健康、農業、工業、ならびに（水や大気の質を含む）環境の保全といった分野に放射線・放射性物質ならびに原子力技術を利用することの重要性に関する全般的な合意が見られた。
- ・研究開発機関とエンド・ユーザー間の連携が重要であることが強調された。研究開発は事業化促進の視点をもつことが必要である。
- ・この連携を強化するため、FNCA ではオープン・セミナーを開催している。FNCA 各国にはプロジェクトのワークショップや会合の機会にオープン・セミナーを計画することを推奨する。
- ・放射線・放射性物質技術を効果的に利用するためには、公衆への情報提供が非常に重要である。原子力研究機関は情報の普及に重要な役割を担っている。

- ・ FNCA と RCA (IAEA) の間のプロジェクト活動の調整の重要性が指摘された。

(テーマ 2) 「 持続可能な発展と原子力エネルギー 」

遠藤委員長代理が議長及びリードオフを行った。主な議論をまとめると以下の通り。

- ・ 経済成長と人口増大によって FNCA 各国ではエネルギーと電力の需要増大が予想される。エネルギー需要の増大に対処するには FNCA の多くの国では原子力エネルギーが実現可能なオプションとなっている。
- ・ この観点からは、これらの各国では持続可能な発展と原子力エネルギーの間に関連が存在するので、2013 年からの COP の第 2 約束期間では CDM から原子力エネルギーを除外すべきではない。
- ・ 「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」という新パネルを設置する提案は了承され、そこでの検討結果の報告書の迅速な提出を希望する。

(3) 各国代表によるカントリーレポートの発表

各国代表から「各国の原子力研究開発政策および FNCA 活動」に関するカントリーレポートが発表された。

このカントリーレポートでは、各国における原子力研究開発の最近の進展状況を含む原子力平和利用のさまざまな局面と、政策の最近の展開状況が含まれた。過去数年の FNCA 活動のレビューの後、参加各国は活動の目に見える進展への謝意を表明し、FNCA の枠組内での将来の協力に注意を払った。全代表は、さらに快適な環境下でよりよい生活を享受するためにメンバー国間で合意した FNCA の目標に則っての FNCA 各国間の協力の重要性を再度確認した。

(4) 議長サマリー

最後に大臣級会合の議長サマリーをとりまとめ。その中で、ベトナム代表より、第 5 回 F N C A は 2 0 0 4 年秋にベトナムで開催されることが発表された。

第4回アジア原子力協力フォーラム参加者

日本

茂木	敏充	科学技術政策担当大臣
藤家	洋一	原子力委員会委員長
遠藤	哲也	原子力委員会委員長代理
木元	教子	原子力委員会委員
竹内	哲夫	原子力委員会委員
町	末男	日本原子力産業会議常務理事（FNCA日本コーディネーター）

オーストラリア

Ronald Francis Cameron ロナルド・フランシス・キャメロン 原子力科学技術機構専務理事(代行)

中国

張	華祝(Zhang Huazhu)	チャン・ホア チュー	国家原子能機構主任
張	静(Zhang Jing)	チャン・ジー	国家原子能機構国際合作司司長
李	響(Li Xiang)	リー・シアン	国家原子能機構国際合作司次長

インドネシア

Ashwin Sasongko	アシュウィン・サソング	研究技術省次官
Soedyartomo Soentono	スジャルトモ・スントノ	原子力庁長官
Hudi Hastowo	フディ・ハストウォ	原子力庁次官

韓国

Park Ho Koon	パク・ホクン	科学技術部大臣
Cho Chung Won	チョ・チュンウォン	科学技術部原子力局長
Chang In Soon	チャン・インスン	原子力研究所理事長

マレーシア

Law Hieng Ding	ロウ・ヒエンディン	科学技術環境大臣
Ahmad Sobri Haji Hashim	アーマド・ソブリ・ハジ・ハシム	原子力庁長官
Daud Mohamad	ダウド・モハマド	原子力庁次官

フィリピン

Estrella F. Alabastro	エストレラ・アラバストロ	科学技術省長官
Alumandra M. Dela Rosa	アルマンダ・デラロサ	原子力研究所所長
Corazon C. Berindo	コラソン・ベルニド	原子力研究所原子力サービス・訓練部原子力訓練課長

タイ

Pathom Yamkate	パトム・ヤムケ	原子力庁長官
Jindarom Chvajarernpun	ジンダロム・チャヤレブン	原子力庁上級原子力化学官

ベトナム

Hoang Van Huay	ホアン・ヴァン・フエイ	科学技術副大臣
Vuong Huu Tan	ヴォン・フー・タン	原子力委員長
Le Doan Phac	レ・ドアン・ファク	原子力委員会国際関係局企画部次長